

## さあ、森からはじまる未来へ 大阪・関西万博 住友館 メディア現地見学会・情報発表会

400年の歴史をもつ住友は、別子銅山(愛媛県新居浜市)の採掘でグループ発展の礎を築きました。過度な木々の伐採と煙害により別子の山々が荒廃した際は、公益との調和を強く求める「自利利他公私一如」の事業精神(\*)のもと、別子の山々へ植林を開始し、100年もの時をかけて、いのちあふれる豊かな森の姿を取り戻しました。森と向き合い、未来へとつなぐこの取り組みは、現在も継承され、私たち住友グループ各社の経営理念の原点となっています。そして、今回のパビリオン出展では、これまで培ってきた英知や技術、人材を集結させ、住友グループの総合力で社会課題に挑みます。人々の心を動かし、時代に変化を与え、未来への希望を創出できるような展示や、夢のあるエンターテイメントを通じて、みなが集い語れる場にしていきます。

(\*)「自利利他公私一如」の事業精神：住友の事業は、住友自身を利するとともに、国家を利し、社会を利するものでなければならない。

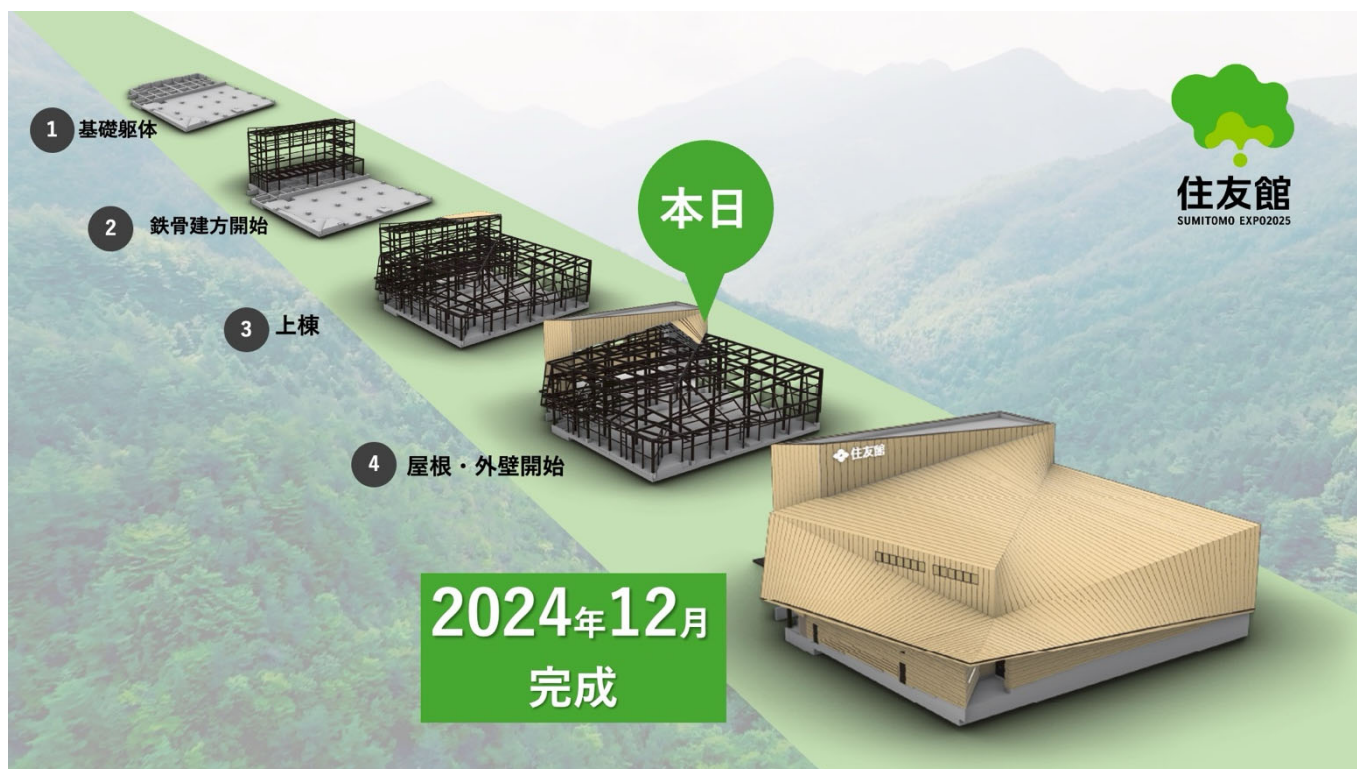


住友館は、住友の発展の礎である四国”別子の嶺”から着想を得てデザインし、山々が連続するシルエットを表現。パビリオン建設には、住友グループが保有する“住友の森”の木を全面的に活用しています。私たちは「1本1本のいのちを大切にしたい」という思いから、木材の加工方法に関しても検討と議論を重ね、“合板”を用いる事で木々を余すことなく利用。木材を薄く桂剥きにする事で合板へと加工し、さらに桂剥き後に残った“芯”も、ベンチなどに姿を変えて住友館に設置します。木材資源の有効活用とリサイクルを実現し、木のぬくもりと安らぎのある「住友館」を建設します。



### 【住友館 工事概要】

- ・ 構造/規模 : 鉄骨造一部木造・地上2階建て
- ・ 延床面積 : 2,717.72 m<sup>2</sup>
- ・ 住友館完成予定 : 2024年12月下旬





## 【展示体験に関して】

住友館の展示体験として、ここにしかない森の中を巡るインタラクティブ体験「UNKNOWN FOREST～誰も知らない、いのちの物語～」と「植林体験」の提供を発表しています。私たちが直面する社会や環境の問題への関心を持ち続けてもらうため、森の中で様々な“いのちの物語”に出会うインタラクティブな体験や、来場者のみなさまに参加いただける「植林体験」を実施します。



### ◆「UNKNOWN FOREST～誰も知らない、いのちの物語～」

住友は、長い時間を重ねてきた森との関わりの中で、森にある多様な価値を見出しました。今まで聞こえなかった、見えなかった、見過ごしていた、いのちの物語を語り、触れていただく場所です。わたしたち人間では知ることができなかった学びをここにしかない森の中で、来場者のみなさまにはランタンを片手に、光や音を用いたインタラクティブな体験を通し、様々ないのちの物語/UNKNOWN と出会う機会を提供します。





## UNKNOWN FOREST 新情報

森を巡る体験を終え、来場者の前に現れるのはおよそ幅 20m × 高さ 7.5m の巨大なレイヤー構造の立体映像装置を中心とした「パフォーミングシアター」。風やミストが来場者の感覚を揺さぶり、圧倒的な映像と音楽・人が融合する大迫力の演出で UNKNOWN FOREST のクライマックスを迎えます。

※開幕半年前を迎える 24 年 10 月 13 日迄には追加情報を公開予定。



### ◆「植林体験」住友館は時を超えて、めぐる。

1970 年の大阪万博の年に植えた木。さらにはもっと時を遡って先人たちが植えた木が、2025 年に時を超えて成長し住友館となってみなさまをお出迎えます。2025 年よりも先の未来に向けて、みなさまにも参加いただける「植林体験」を実施します。未来を担うこどもたちやみなさまが植林した木々が育ち、数十年後、数百年後、時を超えて、さらなる未来へとつながる。過去から継承してきた住友の森との関わりが原体験となって、森や自然との向き合いや、未来へ想いを馳せる大切さを感じ続けるキッカケを提供します。



## ◆コラボレーション企画

住友館は様々なクリエイターの皆様とコラボレーションしていきます。

### クリエイターコラボ：展示コンテンツ

- ・リト@葉っぱ切り絵

情熱大陸などのメディア出演や、24年6月に福島で自身のミュージアムをオープンさせた「葉っぱ切り絵アーティスト」のリトさんとコラボレーションした UNNOWN FOREST の展示体験コンテンツ



### クリエイターコラボ：アテンダントユニフォーム

- ・大野陽平 (YOHEI OHNO デザイナー)

日本発のインディペンデントブランドとして立ち上がり、コレクションへの評価や若者から支持をされる「YOHEI OHNO」とコラボレーションしたアテンダントスタッフのユニフォーム





パビリオンに採用される住友グループ各社の先端技術や、様々なクリエイターとのコラボレーション施策、UNKNOWN FOREST や植林体験とは異なる展示体験コンテンツなどの情報公開など 2025 年 4 月 13 日の開幕に向けて順次発表をしていく予定です。

住友館は、人々の心を動かし、時代に変化を与え、未来への希望を創出できるような展示や、夢のあるエンターテインメントを通じて、みなが集い語れる場にしていきます。2024 年 10 月 13 日には開幕半年前の節目を迎えます。住友グループが持つ様々な力を集結させ、2025 年大阪・関西万博の機運を高める活動を展開していきます。1つのいのちから様々ないのちが生まれ、めぐりめぐってひろがっていく森のように、わたしたち一人ひとりの一歩が、大きなうねりをつくると信じ、豊かな未来に向けて、より一層盛り上げていきます。



#### 【素材提供に関して】

◆本日発表の「住友館」に関する素材は下記 URL よりダウンロードできます。

<https://bit.ly/4d4TeSj>



※画像使用の際は © Sumitomo EXPO2025 Promotion Committee の表記をお願いします。